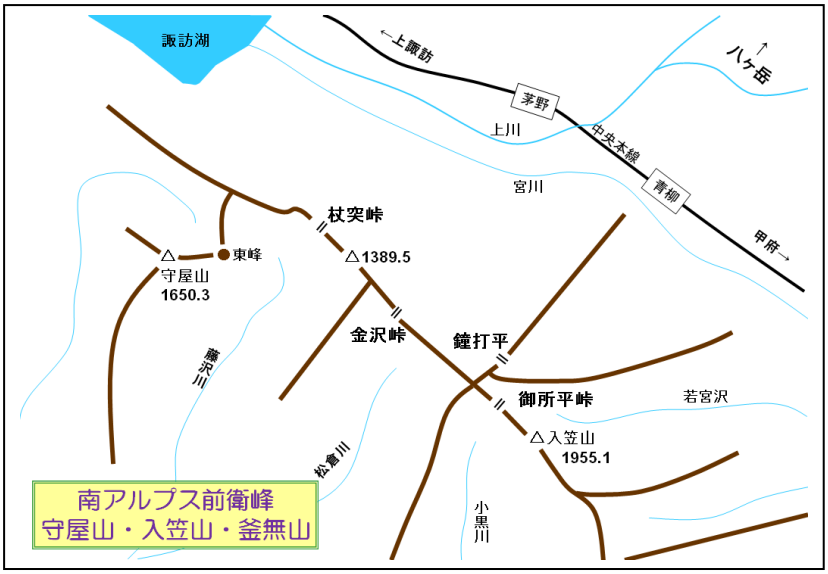
# 踏　み　跡　＜My　Mountains＞

| 南アルプス前衛 | 守屋山 | No.151 |
|---|---|---|

会社の（所属するグループの）中で「若者の集い」という集まりを作って二回目。独身者が中心となって、健康的である山歩きをしようという企画。
奥多摩の山歩きをした前回に引き続き、今回は守屋山へ出かけることになった。
守屋山は、入笠山、釜無山、櫛形山等と並んで眺望の良さが高く評価される南アルプスの前衛峰である。
南アルプスの山脈の北端に位置し、峰の起伏が今にも諏訪湖に吸い込まれんとする、そんな位置にある。
地図で見た感じでは南アルプスよりもむしろ北アルプス、霧ヶ峰、八ヶ岳の眺めの方に目がひきつけられそうな感じがする。

昭和４５年４月２５日
21 時、新宿駅南口に集合。メンバーは男性 6 名に女性 2 名。飛び石連休の中日のため、列車は混んではいない。九日前にも乗った 23 時 55 分発長野行、座席下の暗がりでゆっくり眠らせていただく。

昭和４５年４月２６日
いつものように茅野着 5 時 43 分。国鉄バス待合所で朝食。期待に反することなく八ヶ岳の峰々の大パノラマは圧巻だ。体の震えを抑えながらバスを待った厳冬期とは違って、さすがに 4 月末だと寒さはないので落ち着いて朝食が食べられる。
バスは 6 時 55 分発伊那北行。高遠の桜が満開でかなりの人が出ているらしく、帰路のバスは満員で杖突峠からは乗れないだろうとの情報を得たので、下山路は上諏訪に変更することにした。
杖突峠は相変わらず静かで、たまに通る車が窓から八ヶ岳の眺めを楽しんでいる程度の静かさ。
アカエ沢で小休止。柔らかな日差しを楽しみつつ、若芽の色をうかがう。海抜 1200～1300m のアカエ沢は今がフキノトウの春。
アカエ沢から小一時間の静かな登りで守屋山東峰。
前後左右に期待通りの眺望を得て、三角点がある西峯までもうひとふんばりし、大休止（昼食）。
途中で採ったフキノトウをさっと茹でて食べてみた。香りは悪くはないが少々苦味があって完食はあきらめた。
さすがに一等三角点を持つ山だけに眺望は申し分ない。足元に大きく広がる諏訪湖（右下の写真・大谷君が撮影）、その右上に霧ヶ峰、右へ首を回すと蓼科山を筆頭に八ヶ岳連峰。諏訪湖の左上に北アルプス、穂高の一峯一峯が明瞭に数えられるのがうれしい。中央アルプスは駒ケ岳と宝剣岳のとんがりが目立つ。
ここ守屋山西峰山頂は、これから目を吹かんとする唐松とカサカサと音を立てる枯れ草。
下山路は東峰から諏訪湖を見下ろしながら諏訪大社へ、そして上諏訪駅へ。
列車を待つ間に湖畔の散歩とパチンコ。

以上